

教科(科目)	保健体育（体育）	単位数	2単位	学年	3学年
使用教科書	最新高等保健体育改訂版（大修館書店）				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育みます。 ①明確な目標を設定し、その達成に向けて継続的に努力できる力を育成します。 ②主体的・意欲的に学びに向かう姿勢と、誠実で礼儀正しい態度を育成します。 ③前向きに自己の向上に努め、思いやりを持って行動できる力を育成します。 ④自ら課題を見つけて解決しようと行動し、社会に貢献する力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います。 ①基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、ICTの活用など工夫をし、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう「分かる」授業の実践・改善に努めます。 ②総合的な探究の時間では、教科等横断的な視点で、地域社会と自己との関わりから課題を発見し、多様な他者と協働して解決しようとする活動に取り組みます。 ③生徒個々の持っている長所・能力を最大限伸ばし、生徒が自らの可能性に挑戦し、進路希望を実現できるようキャリア教育を推進します。 ④社会に貢献する姿勢を身に付けさせるために、新潟県立大学との交流、地域行事への参加、ボランティア活動などへの積極的な参加を促進します。

2 学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
--

3 指導の重点

・色々な種目を通してスポーツの意義や必要性を理解するとともに運動の文化的な意義を理解させる。 ・運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わえるとともに、審判法、ゲームの運営などについて理解できるようにする。 ・生徒自らが選択した運動を自ら考え、判断するなどして活動を工夫しながら、一層自発的・自主的に学習することができるようにする。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を持ち、健康・安全を確保して生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	- 授業の取り組み(態度・参加状況) - 実技試験 - 提出物	- 授業の取り組み(態度・参加状況) - 実技試験 - 提出物	- 授業の取り組み(態度・参加状況) - 実技試験 - 提出物
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 ・ 5	体づくり運動(6h) ダンス(民謡)	体づくり運動 ダンス 新潟甚句 佐渡おけさ	- 手軽な運動や律動的な運動を行うことにより自分や仲間の体や心の状態に気付いたり・体の調子を整えることが出来るようになる。 - 手軽な運動や規律的な運動を行うことにより仲間との交流を豊かにする。 - 自己の能力に応じた課題をもって、感情を込めて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりして、交流し、発表が出来るようにする。	10	- 授業の取り組み(態度、参加状況) - 実技試験 - 提出物
6 ・ 7 ・ 8	3 領域選択 球技 ゴール型 ベース型 器械運動	サッカー ソフトボール 器械運動(マット)	- 個人技能を最大限に発揮しチームの課題を解決したり、チームプレーの幅を広げたりする。 - 仲間と連携して集団の能力を高めたり、それに見合った体力を高めたりして積極的に集団へ貢献する力を養い、フェアプレーを心得て仲間と協力しながら相手チームと楽しくゲームができるようになる。 - 個人技能を最大限に発揮しチームの課題を解決したり、個人技能を支える為の体力を高めたりして積極的に集団へ貢献する力を養う。 - ルールをよく理解し、仲間と励まし合いながら1つ1つのプレーを楽しみながら攻防ができるようになる。また、自分たちで公平に審判ができるようになる。 - 回転系と巧技系の基本的な技を7～9種程度個々の技能に合わせて構成し、その技を滑らかに安定した演技で発表できるようにする。 - ICTを活用し、自他の演技を高める為の分析や互いに指摘しながら協力して技の向上に努める態度も養う。	14	- 授業の取り組み(態度、参加状況) - 実技試験 - 提出物
8 ・ 9 ・ 10	陸上競技 体づくり運動(2h) 体育理論	長距離走 豊かなスポーツ	ロードレースにあわせ、自己の記録を向上するための技能を高め、記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わうことが出来るようになる。長い距離を継続して走ることにより強い精神力が養われるようになる。	17	- 授業の取り組み(態度、参加状況) - 実技試験 - 提出物
			01 生涯スポーツの見方・考え方		

	(3h)	ライフの設計	02-①ライフスタイルに応じたスポーツ 02-②興味のあるスポーツを楽しむプラン設計		
10 ・ 11 ・ 12	3 領域選択 球技 ゴール型 ネット型 柔道	バスケット ボール バレーボール 柔道	- 個人技能を最大限に発揮しチームの課題を解決したり、戦術（チームプレー）の幅を広げたりする。 - 仲間と連携して集団の能力を高めたり、それに見合った体力を高めたりして積極的に集団へ貢献する力を養い、フェアプレーを心得て仲間と協力しながら相手チームと楽しくゲームができるようにする。 - 相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技、連絡技、変化技を用いて手を崩し、攻防する。	16	- 授業の取組み（態度、参加状況） - 実技試験 - 提出物
	体育理論 (3h)	豊かなスポーツ ライフの設計	03 スポーツを推進する取り組み 04-①豊かなスポーツライフの創造 04-②ライフステージに応じたスポーツイベントを創造する（仮説）		
12 ・ 1 ・ 2 ・ 3	3 領域選択 球技 ゴール型 ネット型 柔道	バスケットボール バドミントン 柔道	- 個人技能を最大限に発揮しチームの課題を解決したり、戦術（チームプレー）の幅を広げたりする。 - 仲間と連携して集団の能力を高めたり、それに見合った体力を高めたりして積極的に集団へ貢献する力を養い、フェアプレーを心得て仲間と協力しながら相手チームと楽しくゲームができるようにする。 - 相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技、連絡技、変化技を用いて手を崩し、攻防する。	13	- 授業の取組み（態度、参加状況） - 実技試験 - 提出物

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

单元ごとに、実技テスト等の課題、提出物があります。

8 担当者からの一言

積極的に運動の魅力に触れましょう。健康管理に注意し、欠席をせずに一生懸命取り組んでください。